



東京都港区浜松町二丁目3番8号
WTC annex 7階
株式会社LTTバイオファーマ

News & Information

2026/10/1

〔日本獣医学会での研究成果発表のお知らせ〕

当社は、既に臨床で使用されている医薬品（既承認薬）の新たな薬効を見出し、別の疾患に対する治療薬として開発するドラッグ・リポジショニング（DR）の先駆的企業として、アカデミアとの共同研究も「DR グラント（アカデミアから提案された優れたアイデアに対して、DR 研究材料や研究費を当社が提供するという取組み）」を通じて推進しております。このたび、DR グラントの一つとして国立大学法人宮崎大学と進めてきました、ネコの重篤なウイルス感染症に対する新規治療薬探索研究に関して、その研究成果の一部を以下の通り発表いたしましたのでお知らせいたします。

開催日：2026年9月8日～11日

学会名：第169回日本獣医学会学術集会（東京）

講演者：齊藤 暁 先生（宮崎大学 フロンティア科学総合研究センター 准教授）

演題名：新技術が切り拓く猫ウイルス感染症研究

これまで、ネコの致命的な感染症である SFTS（重症熱性血小板減少症候群）および FIP（猫伝染性腹膜炎）に対して、発症の原因となるウイルス量を試験管内で低減させる既承認薬（候補薬）を、当社保有の既承認薬ライブラリから見出しております（2025年12月15日付当社ニュースリリース参照）。さらに研究を進め SFTS 感染マウスモデルに候補薬を投与したところ、マウス生存率が改善するとともに、体内ウイルス量の減少が確認されました。以上の成果は、SFTS に対する新たな治療薬開発の可能性を示しています。

SFTS はネコをはじめとする動物に重篤な症状を引き起こすだけでなく、ヒトにも感染する人獣共通感染症であり、地球温暖化に伴い国内感染地域の拡大と併せて患者数が年々増加しています。現時点では有効な治療選択肢が限られていることから、動物医療およびヒト医療の双方において、新たな治療薬の開発が強く求められています。

今後も宮崎大学と共同して、SFTS および FIP をはじめとするウイルス感染症に対する治療薬開発を推進し、動物医療への貢献に加え、ヒト医療への応用も視野に入れた研究開発を進めてまいります。

本共同研究に関しまして、さらに進捗がありましたら、適時ご報告いたします。

以上